

先輩から贈る新入生への

図書館活用アドバイス



私の図書館利用法

政治経済学部政治学科3年 德田 大紀

私は1日に1度は図書館に通うことにしている。しかし、あまり長居をすることはない。そもそも図書館とは課題や資格の勉強、ゼミの活動のために長時間に渡って利用する場所と考えてしまいがちではないだろうか。私も図書館を息も詰まるように黙り込んで長時間利用する場所だと以前は考えていた。しかし、それではもったいない!と今では思ってしまう。だから、私は学校にいる間、どこかにすきま時間を見つけて図書館に足を運んでいる。

では一体、そのすきま時間を使って図書館で何をするのか。是非みなさんにおすすめしたいのが、新聞コーナーに置かれた毎日の新聞を読むこと、そしてさらに時間があれば、雑誌コーナーの雑誌を読むことである。新聞は全国紙から地方紙まで種類は豊富だ。また、アーカイブが設置されているので、過去の新聞もここで閲

覧できる。

具体的に私がこれらの豊富な種類の新聞と雑誌を前にしてどうしているか。それは、全国紙の社説にまず目を通し、その次に興味のある国際面で気になった記事を1つ読むこと。そして雑誌もNEWS WEEK(日本版)など国際事情について書かれたものをさっと読み通すこと。それだけである。すきま時間を使って、これを毎日繰り返すことで、私がを目指す国際人の姿に一歩ずつではあるが、近づいているように思う。



図書館の利用方法

農学部農学科3年 熊澤 紗

大学内の図書館は様々な目的で利用することができます。私の場合、1・2年生の時は、主に授業や実験のレポートを書く上で参考となる文献を探すために利用していました。

3年生になってからは、研究室で自分が担当する調査の参考となる本を探すことが多くなり、図書館を利用する回数も増えました。研究室でも専門書は扱われているのですが、私は研究室と図書館、両方で借りた本を参考に調査の計画を立てていきました。図書館では多種多様な本が扱われているため、自分の専門に捕らわれずに研究の視野を広げることができます。また、数多く保管されている論文も研究に大いに役立ちました。膨大な数の書籍や論文は図書館の検索システムOPACを利用して自分の目的に合ったものを簡単に探し出すことができます。

その他にも、講義の自習のために図書館を利用する学生が多く見られます。館内はいつも清潔に保たれ、静かで快適な環境の中、集中して勉強に取り組むことができます。大学内において個人的に作業を行いたい人にとって最適な環境だと思います。講義の空き時間等にちょっと調べ物をしたいという場合も気軽に立ち寄ることができます。

みなさんも自分に合った図書館の利用方法を見つけ、より充実した大学生活をお過ごし下さい。



図書館利用の勧め

理工学研究科新領域創造専攻博士前期課程1年 関 竜弘

「大学の4年間はあっという間だった。」誰もが一度は耳にしたことがある言葉ではないでしょうか。しかし、一方で大学の4年間というものは、自由な時間がとても多い恵まれた期間です。サークル活動やアルバイトなどをして過ごす放課後もとても大切な時間でしょう。しかし、大学では時間割の関係上、自分が履修する授業と授業の間に90分以上の時間が空くこともあります。そんな時間に気の合う仲間とさまざまな話に時間を忘れて楽しむことも大切なことですが、週に1度でも図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。図書館は、明確な目的を持ったひとのみが利用するものではありません。ただ、森を散歩するように図書館を歩き回ってみて下さい。そこには、先人たちの様々な知識の集積が私たちの興味や関心を高め、きっとついいく多くの本を手にとってしまうことでしょう。また、そうして巡り合った本

も、決して全部読もうと意気込む必要はありません。興味のあるところをどんどん読んでいきましょう。興味は芋づる式に広がり、大学を卒業する頃には、多分野に広がった知識とさらに深まった興味・関心が人生をより豊かなものにしてくれるでしょう。

さいごに、みなさん、図書館に散歩に行きましょう。強い興味と関心こそがあなたの強い武器になります。みなさんの充実した図書館ライフを願っております。



「図書館活用法」履修のおすすめ



「図書館活用法」とは?

学部の枠を超えて様々な講座が開設されている「学部間共通総合講座」の中に「図書館活用法」という科目があります。

この科目は明治大学図書館の基本的な話から、データベース検索のテクニック、および検索結果を読み取るスキルを身に付けて、皆さんに図書館の蔵書を使いこなせるようになってもらうことを目的としています。

明治大学図書館は220万冊を超える図書、2万3千種類の雑誌、国内外の様々な外部データベース、電子ジャーナル、CD-ROMなどの膨大な学術資料を収蔵しています。

授業やゼミのレポート、あるいは論文を書くときには、これらの学術資料が大いに役立ちます。そして、膨大な資料の中からより迅速に、より効率的に自分が必要とする資料を入手し、適切に利用するためには、「図書館活用法」で得た知識やスキルが心強い味方になります。

授業では技術的なスキルアップだけでなく、実際にレポートや論文の作成法や、インターネットを経由した電子情報の特性や問題点、図書の歴史、図書館と著作権といった幅広いテーマについて講義します。

有意義な学生生活を送るために図書館を上手に利用して身近な場所にすることが大切です。「図書館活用法」の履修がそのきっかけになるでしょう。

授業スケジュールや詳しい内容については「学部間共通総合講座」のシラバスや図書館のホームページにもありますのでご覧ください。

